

薬学生実習受入対策委員会

現在 薬学部は6年制となっており、5年次で病院・薬局 それぞれ11週間の実務実習を行っています。

私たちの委員会では学生が充実した11週間を過ごせるように、また、個々の薬局での実習困難な実習内容を集合研修として企画・開催し、実習の委託など実習環境の整備を行っています。

受入薬局の指導薬剤師の先生方のサポートも行っており、実習生受入開始前に各期ごとに受入薬局連絡会を開催し、集合研修や委託実習のスケジュールの説明や調整、実習に係る様々な問題について対応しています。

2021年、和歌山県立医科大学に薬学部が創設され、創立5年後からは和医大薬学部の薬学生の実習が始まります。薬学実習生の数も現在より増大するため実習を受け入れていただける薬局を増やしていくことも大きな課題です。

委員会主催の集合研修

- ・在宅医療に関する実習

訪問看護師さんやケアマネージャーさんの役割や薬剤師がご自宅や施設を訪問する意義などについて考えます。

メーカーさんのご協力で実際に酸素マスクをつけて在宅での酸素療法を体験します。

簡易懸濁法などについても学びます。

- ・災害時における薬剤師の役割について

東北や熊本など実際に災害現場に派遣された薬剤師の話聞き、災害時での薬剤師の役割について考えます。

- ・セルフメディケーションに関する実習

これからの薬剤師に必要とされる一般用医薬品について考えます。

委託実習

- ・中消防署で和歌山市の防災対策の講義・防災センターの見学・AED実習
- ・夜間・休日応急診療センターでの実習
- ・ドラッグストアでの一般用医薬品に関するカウンター実習